
1. 2013年3月期第2四半期決算について

2. 中長期の成長に向けた重点施策

さらなる成長を目指す経営ビジョン:ビジョン2015

未来志向で力強い
事業ポートフォリオ構築

〔金融関連分野のサービス高度化〕

金融機関のニーズに広く応える
“業界標準ビジネスプラットフォーム”を
より多くのお客様に提供

〔産業関連分野の拡大〕

生活者につながる
コンシューマーインダストリーを中心に
対象企業やサービス範囲を拡大

〔中国・アジア事業の強化・拡大〕

中国・アジアにもう一つのNRIをつくり、
ナビゲーションとソリューションの両面から
企業・社会に貢献

〔生産革命・人材開発〕

“いまを超える、自らを超える”
をスローガンに、既存の枠組みを超えて
活躍できる人材を育成

Vision
2015

ビジョン2015に向けた進捗状況

■ビジョン2015につながる質的な成果が出始めている

金融関連分野のサービス高度化

野村証券への導入決定により、
STAR-IVが業界標準ビジネスプラットフォームとして大きく進展

Value Directの利用が広がり銀行業向け拡大へ足がかり

産業関連分野の拡大

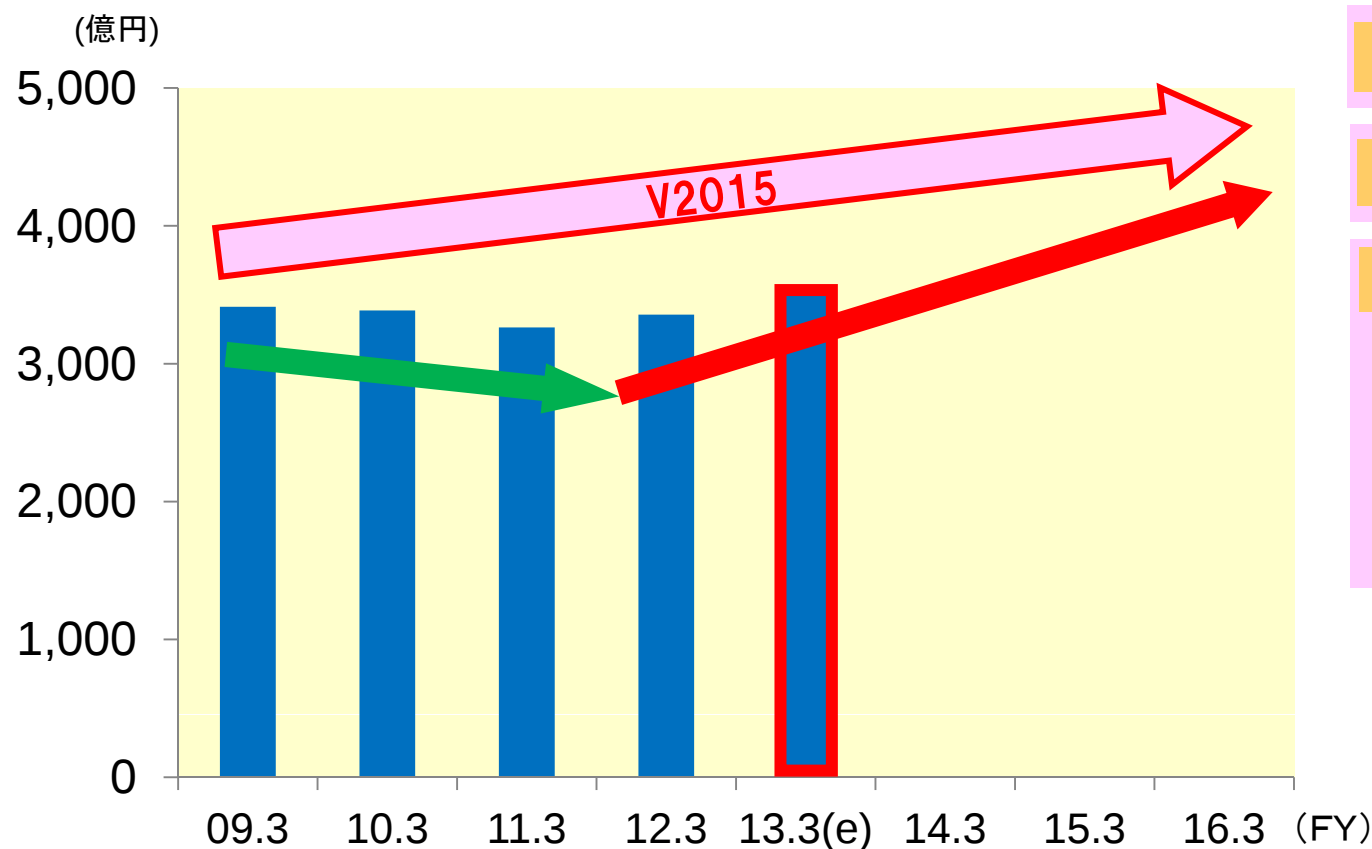
プライムアカウント戦略が3社で成果

中国・アジア事業の強化・拡大

NRI上海(コンサル)と、グローバルSCM事業拡大
インド、ASEAN、大連の拠点拡大とNRI APACの設置

ビジョン2015達成に向けて

■ 2012年度はビジョン2015達成に向けてターニングポイント



成長力 7%成長できる力

収益力 営業利益率「13%」

安定成長力

力強い事業ポートフォリオ

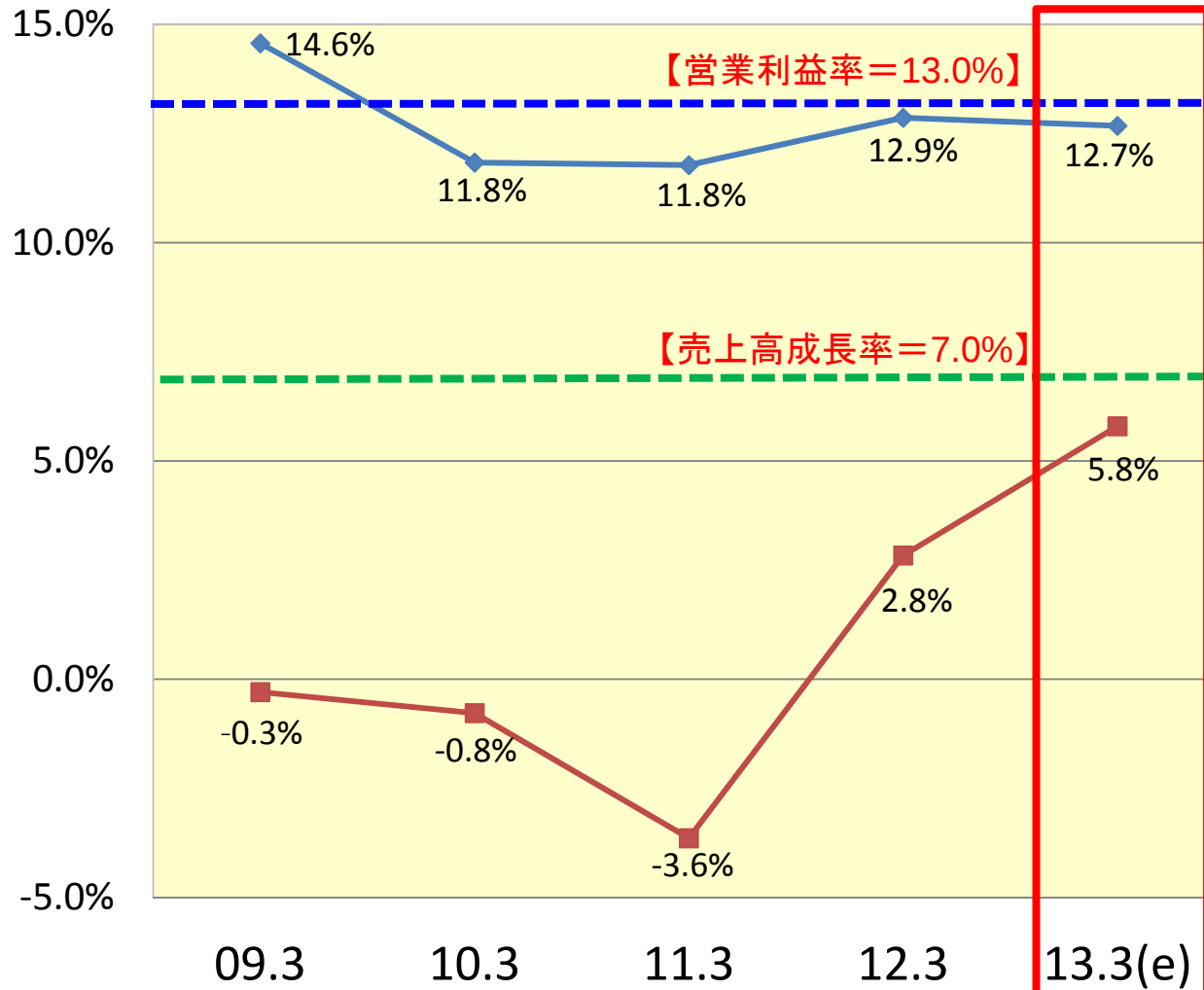
2大顧客以外の比率拡大

産業比率拡大

グローバル比率拡大

ビジョン2015に向けたこれまでの業績推移

■ 今年度からモードが変わりつつある



収益力 営業利益率

- '10.3期・'11.3期に比べ、昨年度から、改善傾向

成長力 売上高成長率

- 今年度の計画を実現して、はずみを

ビジョン2015に向けた重点施策の推進

重点施策の例

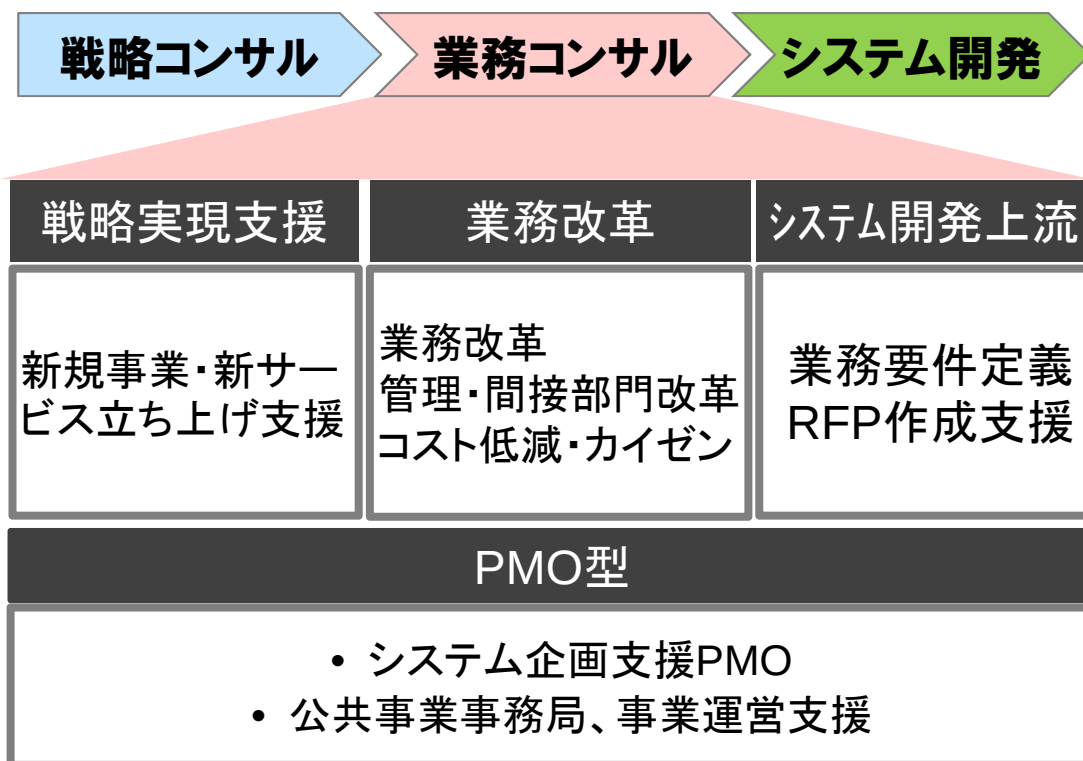
コンサルティング	●業務コンサルの拡大
	●PMOやIT部門改革によるシステムコンサル拡大
金融ITソリューション	●野村證券の国内システム刷新プロジェクト対応
	●業界標準ビジネスプラットフォームの事業領域拡大
産業ITソリューション	●産業分野の大型顧客の創出・維持に向けた施策
中国・アジア	●ASEANでの事業発展への施策
IT基盤	●東京第一データセンターの完成と関西データセンター政策

1. コンサルティング

業務コンサル、PMO・IT部門改革によるコンサルティング拡大

- 経営コンサル事業の拡大に向けた業務コンサルの強化
- PMOやIT部門構造改革を通じたシステムコンサルティングの拡大

業務コンサルティングの例



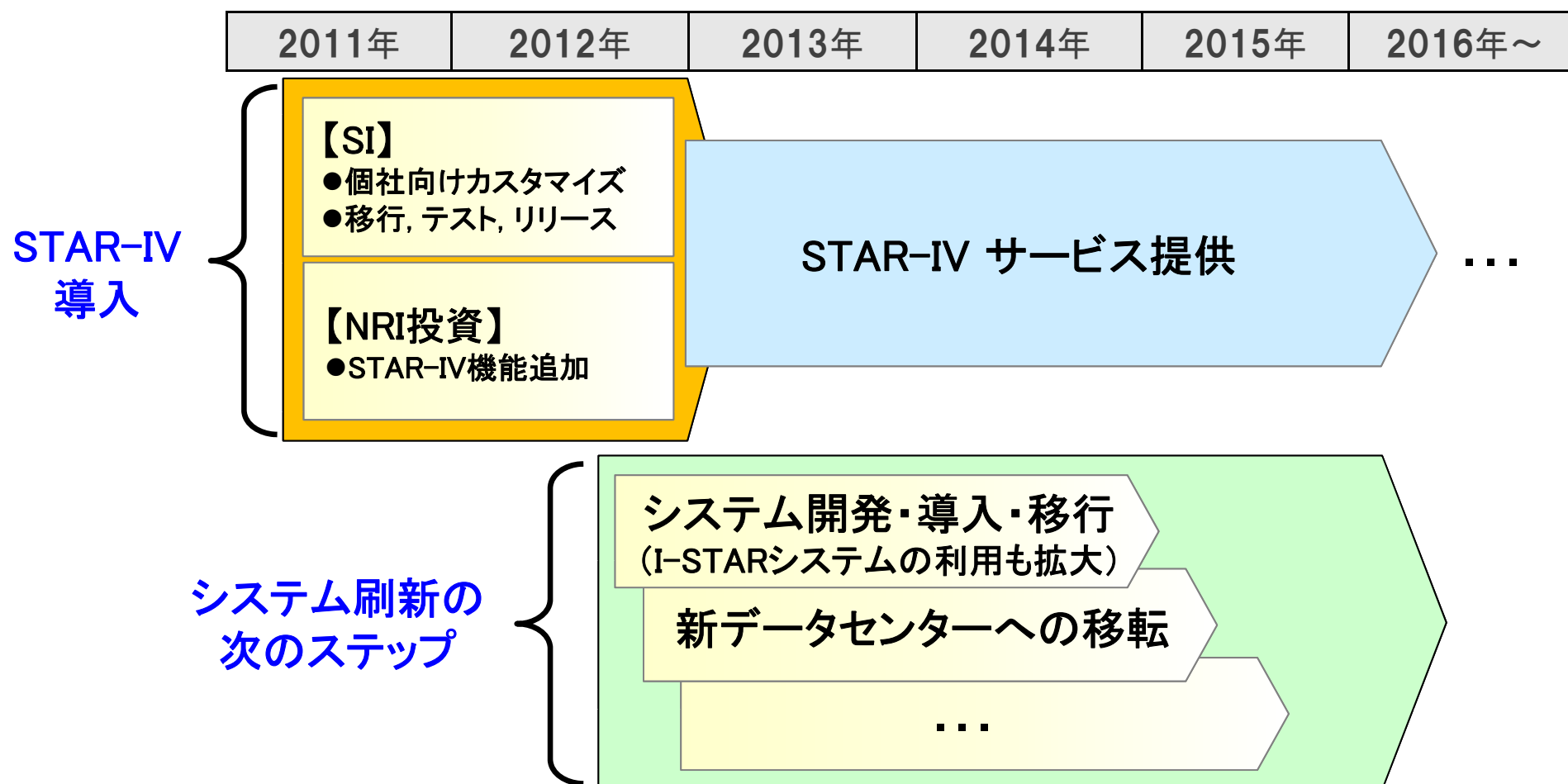
システムコンサルティングの例

テーマ	概要
PMO	● 全体のIT戦略策定 ● プロジェクトの優先順位付けと資源配分の管理 ● プロジェクト・マネジメント支援
IT部門構造改革	● IT部門の改革のために、外部パートナー等を活用した新たなアウトソーシングモデルを構築

2. 金融ITソリューション

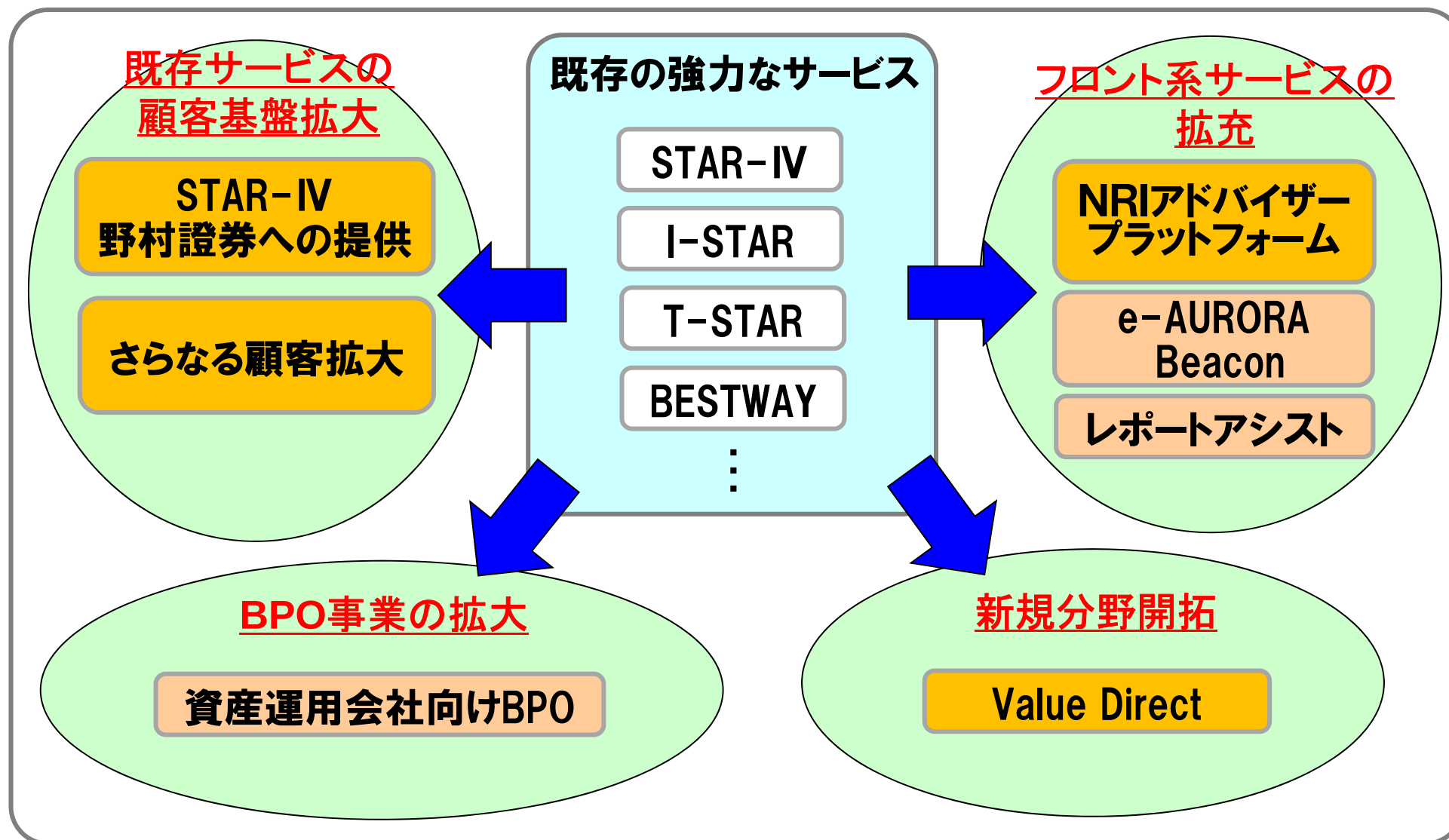
野村証券の国内システム刷新プロジェクト対応

- STAR-IV導入は予定通り進捗。リリースに向けたテストが佳境
- システム刷新に向けた次のステップがスタート



2. 金融ITソリューション

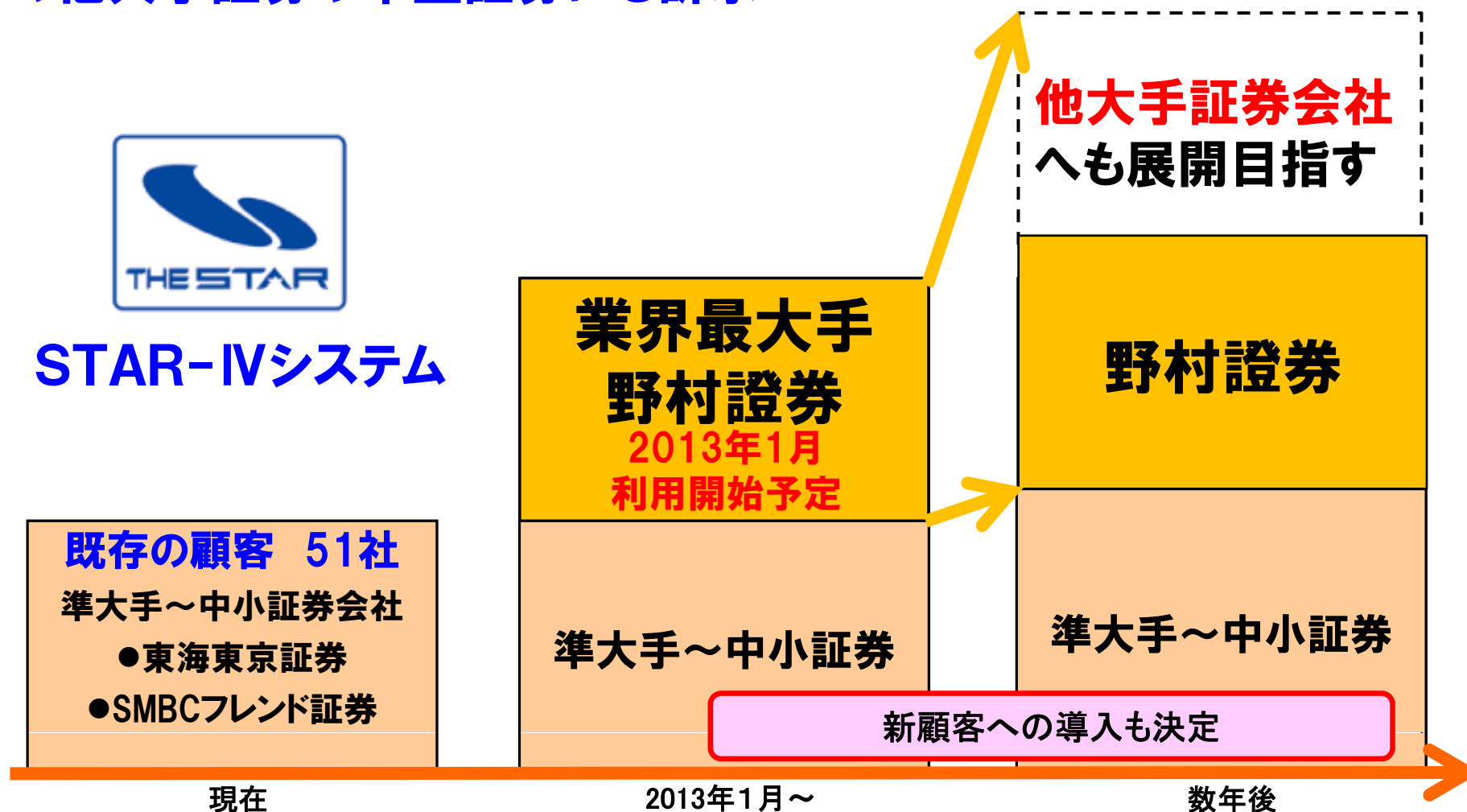
業界標準ビジネスプラットフォームの事業領域拡大



2. 金融ITソリューション 業界標準ビジネスプラットフォームの事業領域拡大

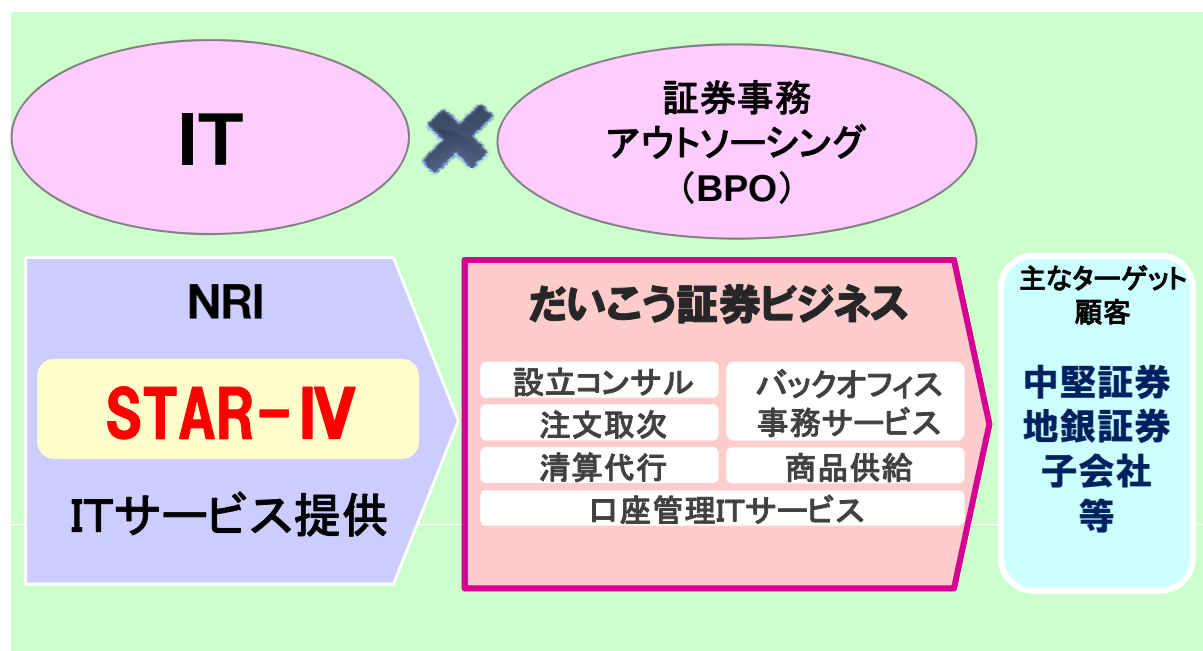
さらなる顧客拡大 ～大手証券会社へのSTAR-IV展開～

- 業界最大手の野村證券が導入⇒STAR-IVが更に確固たる地位を確立
その他大手証券や中堅証券にも訴求



2. 金融ITソリューション 業界標準ビジネスプラットフォームの事業領域拡大 さらなる顧客拡大 ～だいこう証券ビジネスとの協力・資本関係強化～

- STAR-IVのさらなる拡販を狙う
- だいこう証券ビジネスの証券事務アウトソーシングとも連携



TOBによる資本関係強化

買付期間	9/18～10/16
買付数	6.7百万株
買付代金	約19億円
TOB後の株式所有割合	36.18% (発行済株式総数に対する比率)

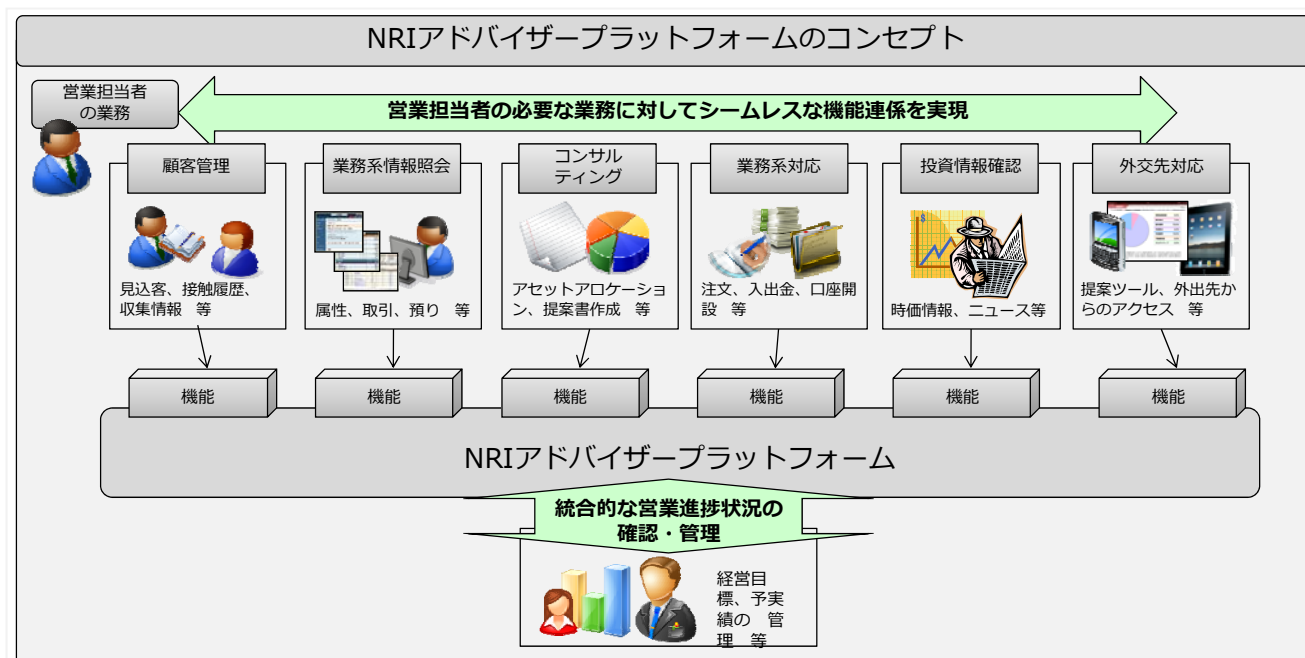
↓

負ののれんが3Qに発生
当期純利益への影響は約+50億円

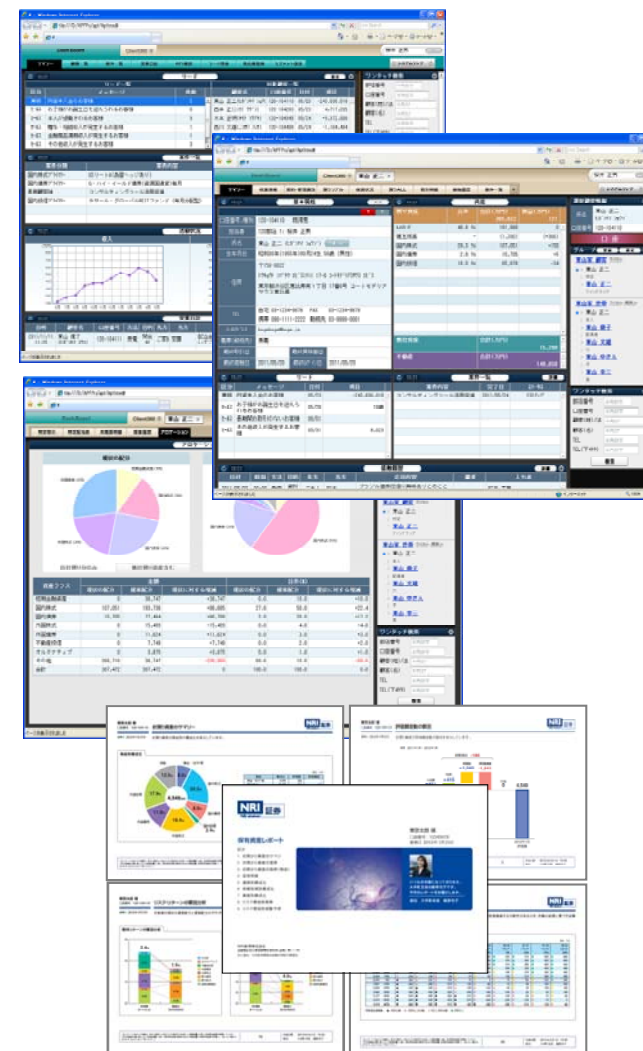
2. 金融ITソリューション 業界標準ビジネスプラットフォームの事業領域拡大 NRIアドバイザープラットフォーム

➤ 金融商品のコンサルティング型営業を支援するフロントシステム

2013年1月サービス開始



STAR-IVとも連携した高付加価値サービス



2. 金融ITソリューション 業界標準ビジネスプラットフォームの事業領域拡大 Value Direct（銀行分野）

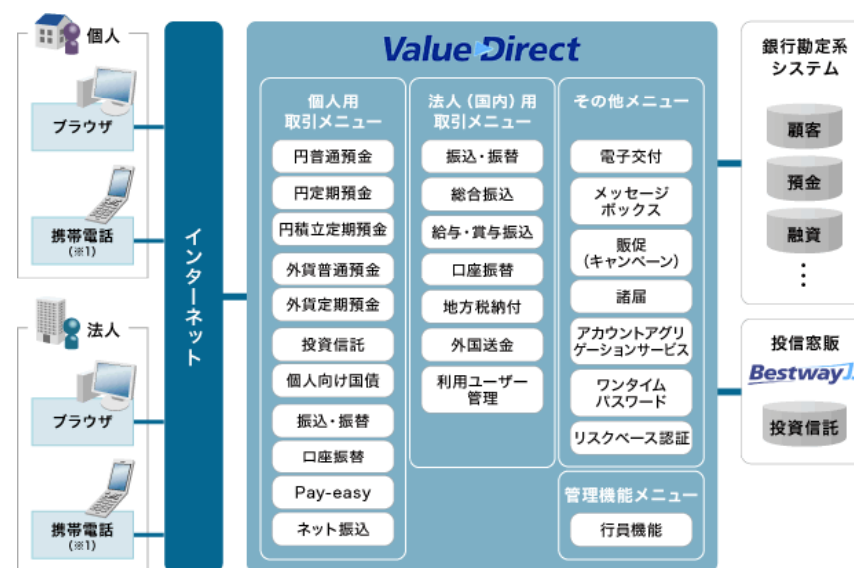
➤ インターネットバンキングサービスの「Value Direct」は順調に利用顧客拡大

Value Direct

スルガ銀行
みなと銀行
南都銀行
さわかみ投信
：

9社採用決定（注）
（うち6社稼働、内定を含む）

（注）2012年10月現在
赤文字は今回新たに紹介する顧客



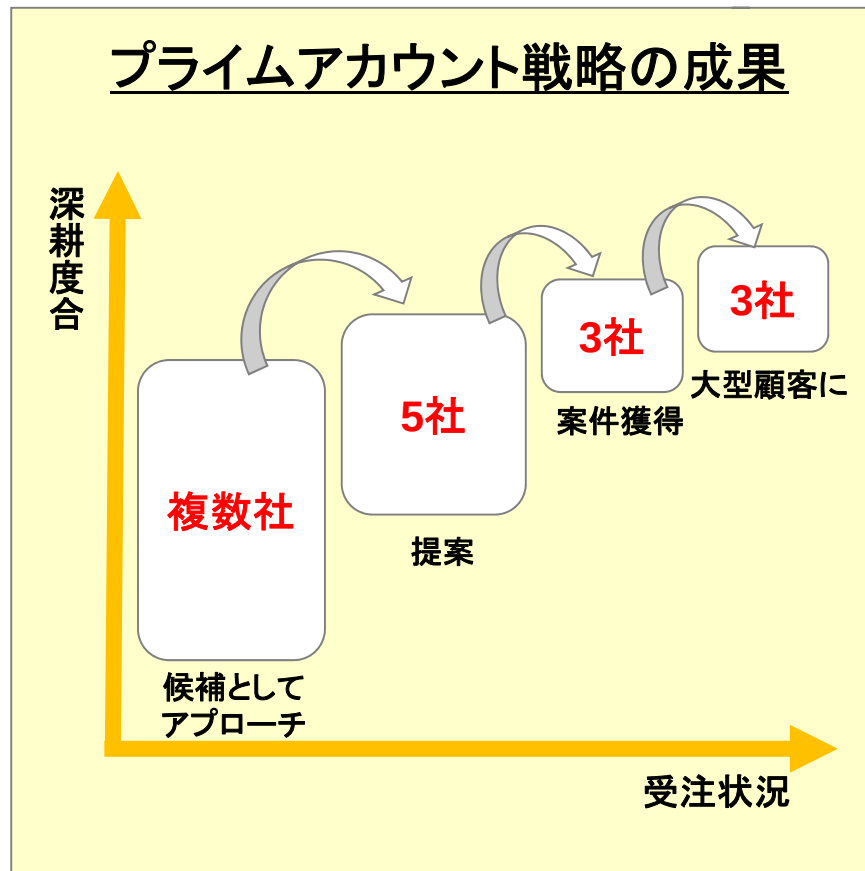
※1 携帯電話（iモード、EZweb、SOFTBANK）に対応

（注）「Value Direct」には、振込・振替、定期預金、外貨預金、投資信託、国債、ローンなど一連の取引に対応したフルバンキング機能を装備
「Value Direct/投信」は、「Value Direct」のうち投資信託機能を提供

3. 産業ITソリューション

産業分野の大型顧客の創出・維持に向けた施策

▶ プライムアカウント活動を通じた新規顧客獲得



3社で規模拡大
味の素、資生堂、通信業

3社で案件獲得・拡大中

2015年までに
10社の大型顧客の開拓を
目指す

4. 中国・アジア

ASEANでの事業発展への施策

➤ 中国に加えて、ASEANでも事業拡大を狙う

グローバルSCM

- 顧客は日系メーカーの工場・販社、商社
- 15国・地域、60社110サイト以上の実績



海外拠点の再編・強化

アジア統括会社(NRI APAC)を増強し、ソウル、台北、マニラ支店などを傘下に

NRI APAC

- NRI 香港(4月 NRI APACの子会社化)
- NRI インド(2011年11月)
- NRI FT India(7月買収・名称変更)
- NRI APAC ジャカルタ事務所(4月新設)
- NRI タイ(12月新設予定)
- NRI ソウル(12月現法化予定)
- NRI 台湾(12月現法化予定)
- NRI APAC マニラ支店(2013年4月予定)

5. IT基盤

東京第一データセンターの完成

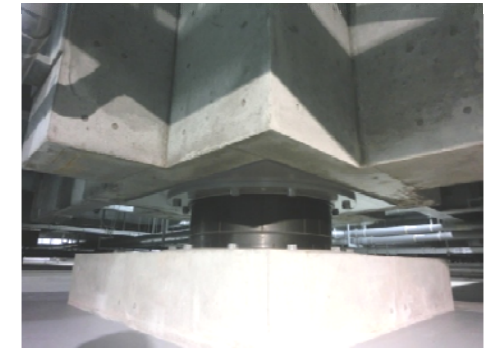
- 東京第一データセンターは10月17日竣工し、11月サービス開始
- BCP/DRニーズにも訴求する、災害耐性・環境性能の高いデータセンター

内部の様子

東京第一データセンター(多摩市)



ダブルデッキシステム
(コンピュータエリア)



免震装置



ダブルデッキシステム
(メンテナンスエリア)



太陽光パネル

5. IT基盤

関西地区のデータセンター事業の強化

- BCP/DRニーズの高まりに対応するため、新DCの建設を計画中
- 既存DCを含めた高度で効率的な運用体制の実現を目指す
- 財務面でも将来の事業価値向上に向けた施策を実施予定

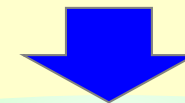
最先端設備を備えた 新データセンターを計画中

業界標準ビジネスプラットフォームや
クラウドサービスの拠点として展開

⇒2015年度サービスインを目指す

大阪DCの資産効率化施策を 実施予定(オフバランス化)

施策実施に伴い、
今期約70億円の特別損失を予定
当期純利益への影響約▲40億円
(負ののれんの特別利益と相殺)

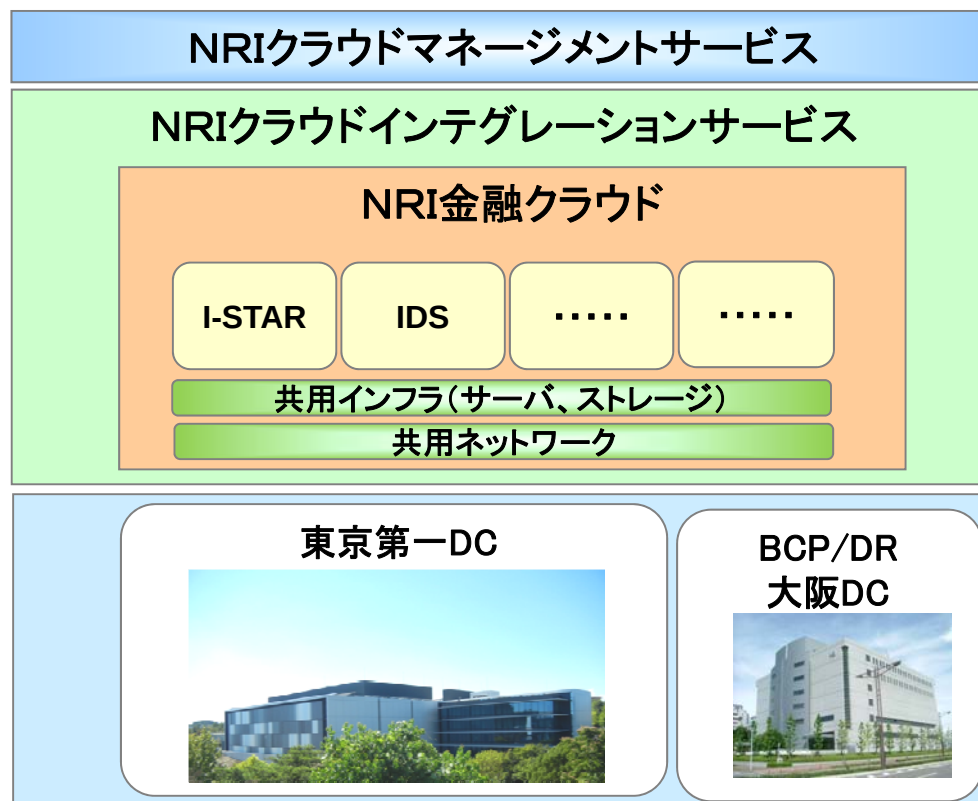


来期以降の
コスト削減効果

5. IT基盤

NRI金融クラウド

- 東京第一データセンターに、「NRI金融クラウド」の構築を推進
 - 共同利用型サービスのIT基盤のクラウド化により、コスト効率化を目指す
- 基盤共通化に加え、「大規模DBや大規模トランザクションの処理」、「DR機能」、「セキュリティ」等を強化



-
- ・本資料は、2013年3月期第2四半期決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではなく、また何らかの保証・約束をするものではありません。
本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。
 - ・本資料のいかなる部分も一切の権利は野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。